

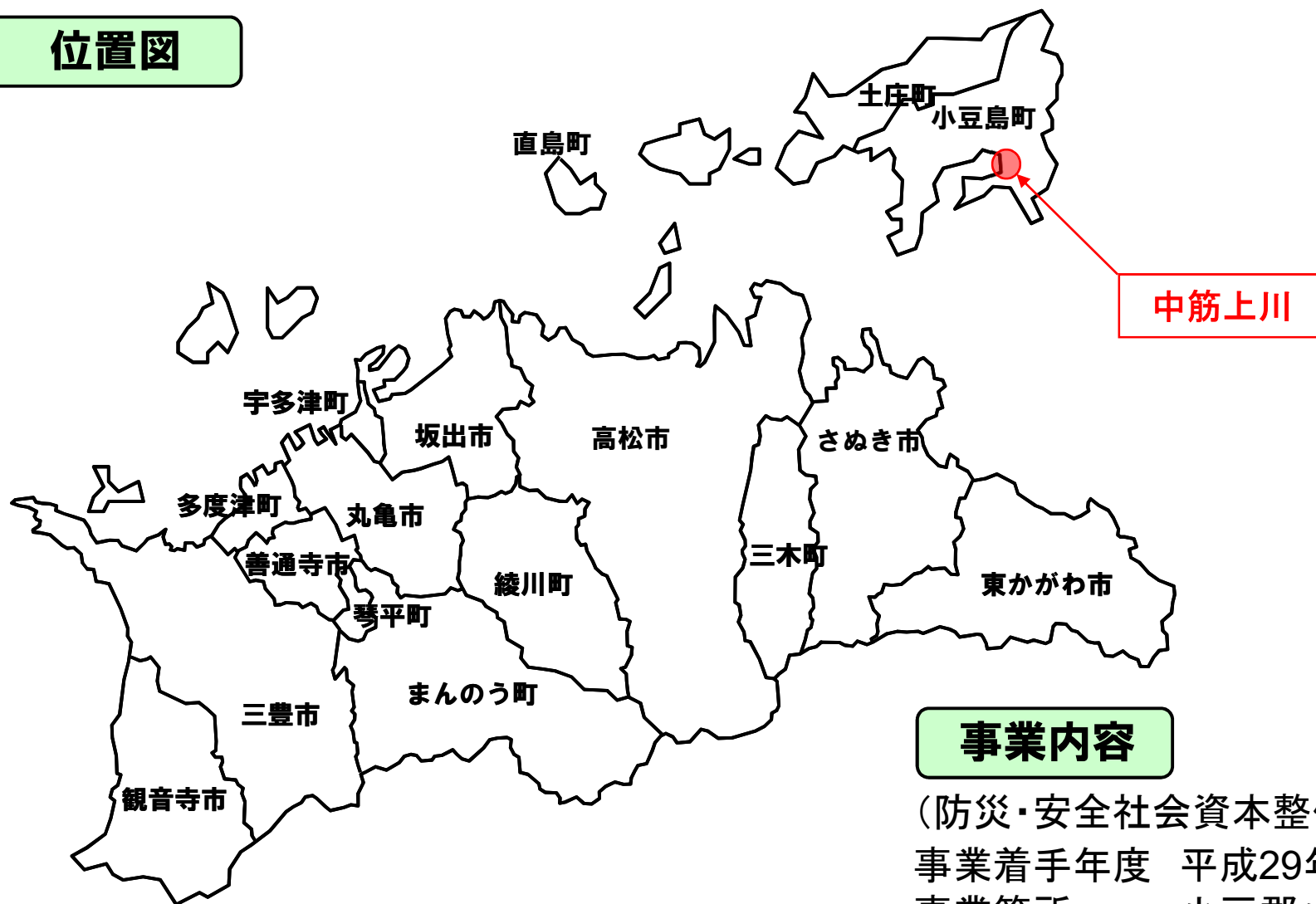
新規事業採択時評価対象事業

中筋上川 事業間連携砂防等事業

香川県 河川砂防課

◇ 1 事業の概要

位置図



事業内容

(防災・安全社会資本整備交付金)
事業着手年度 平成29年度
事業箇所 小豆郡小豆島町
事業費 240百万円
実施内容 砂防堰堤1基、
溪流保全工67m 1

◇ 1 事業の概要

流域の概要

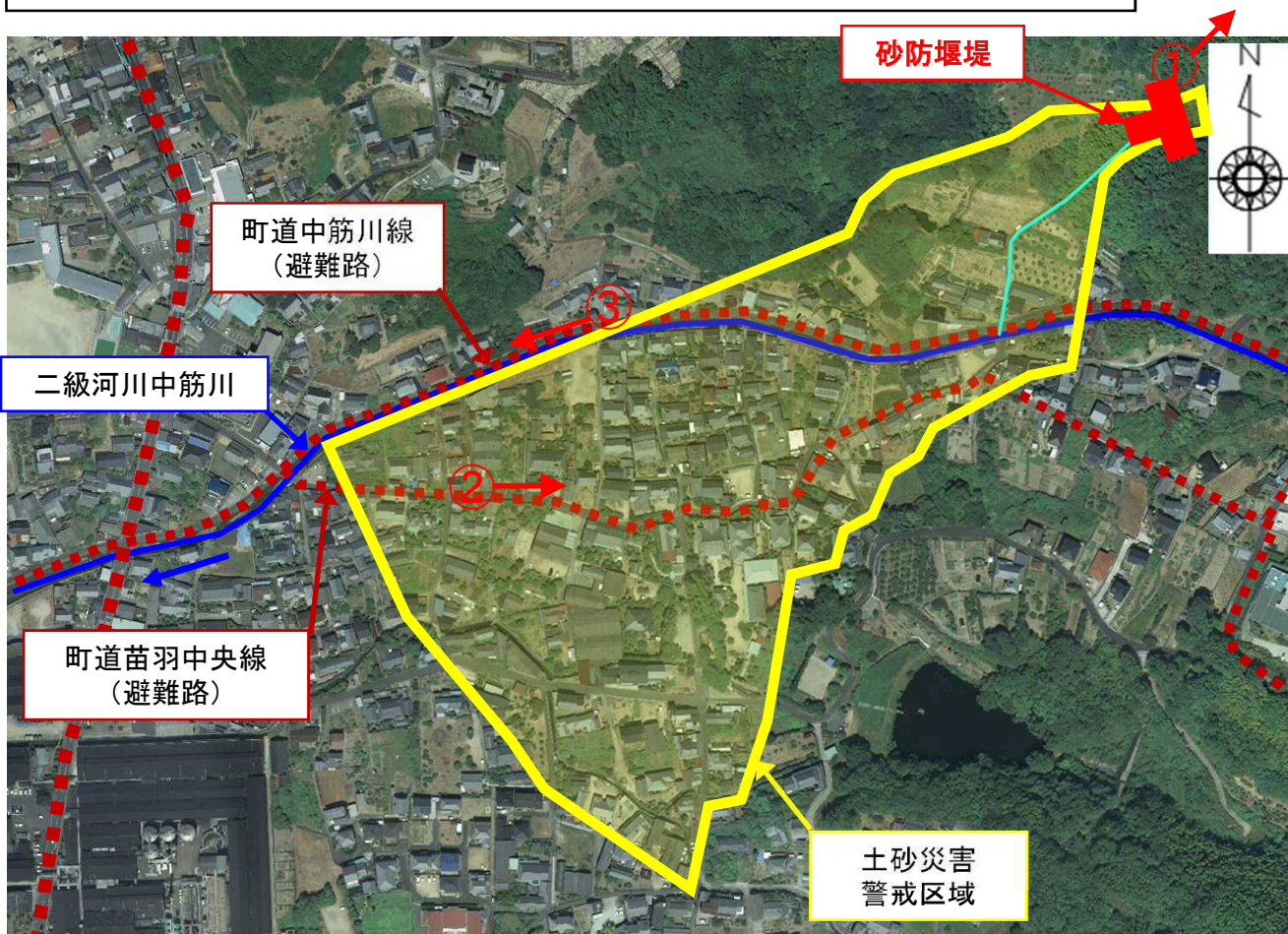


◇ 1 事業の概要

保全対象

事業の主な保全対象

- ・人家 119戸
- ・二級河川中筋川 771m
- ・町道 2,697m



① 溪流の荒廃状況
平均の溪床勾配は1/5.4



② 町道苗羽中央線

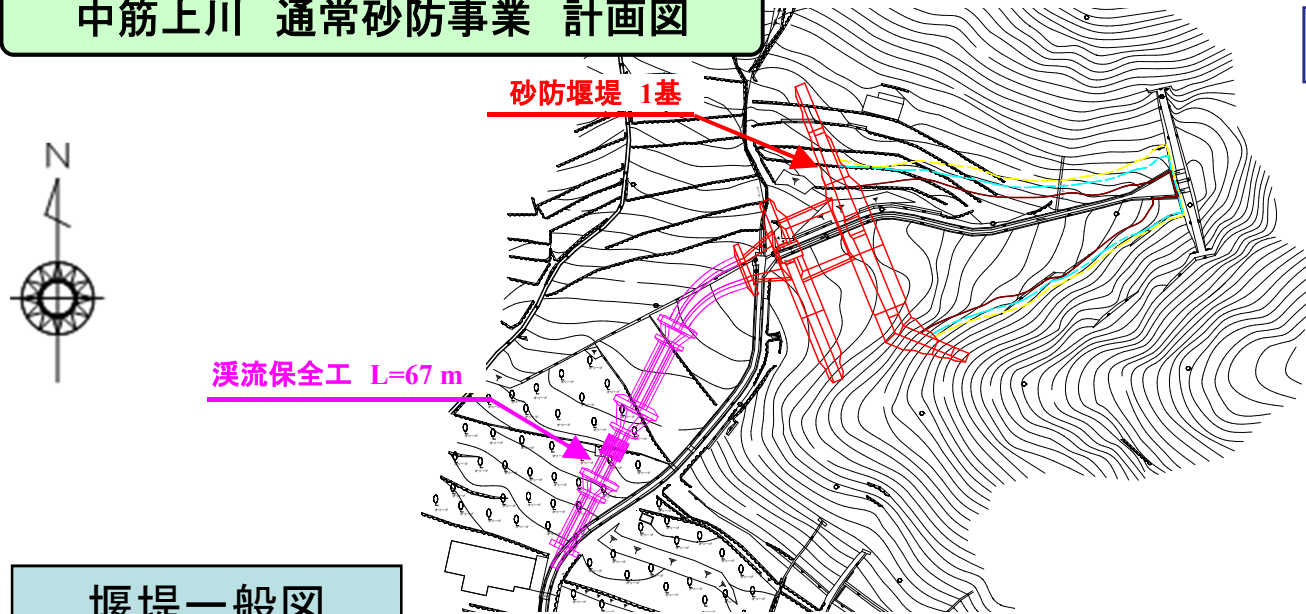


③ 町道中筋川線



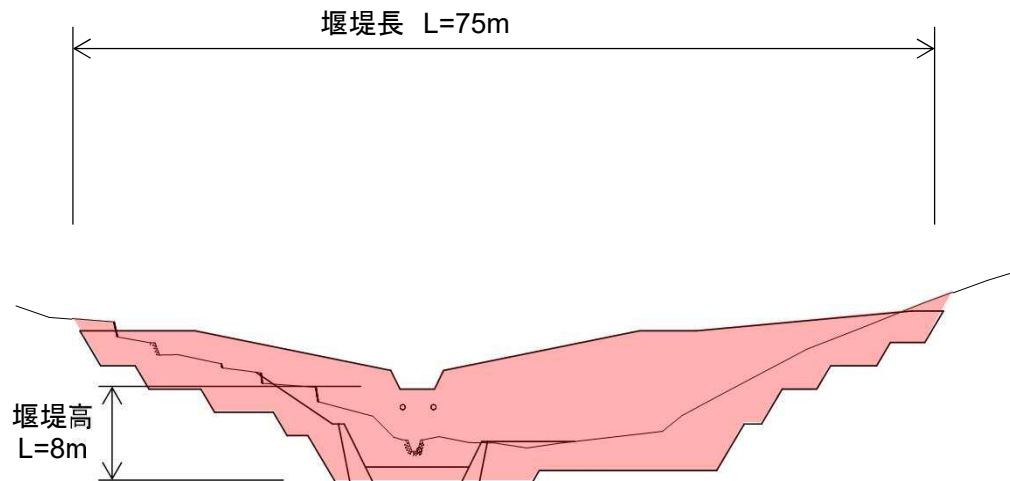
◇ 1 事業の概要

中筋上川 通常砂防事業 計画図

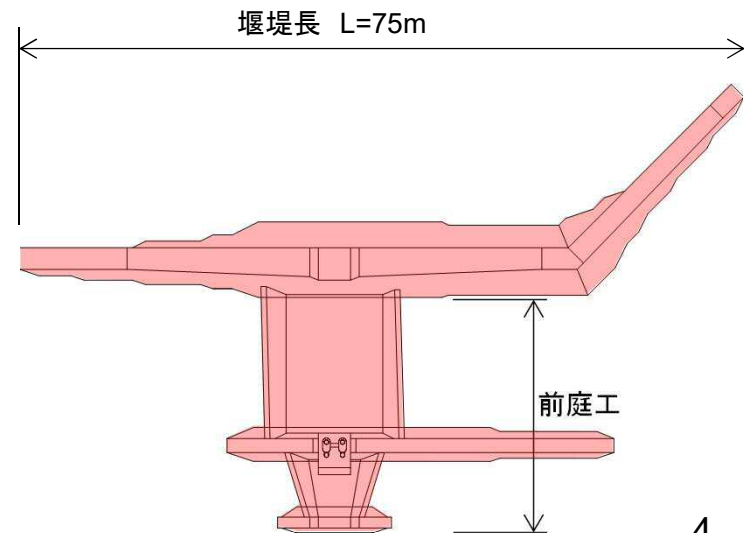


計画平面図

堰堤一般図



(堰堤正面図)

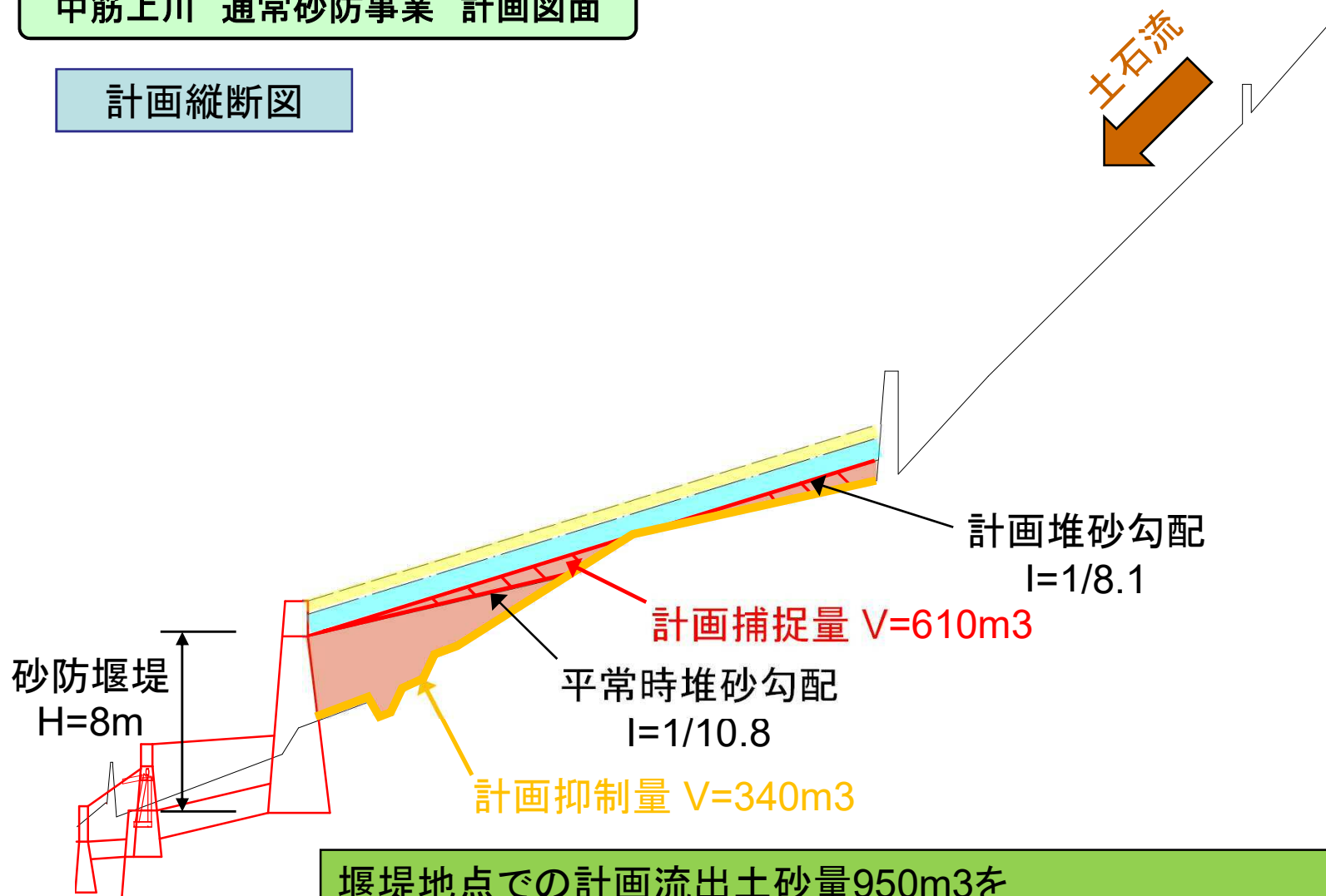


(堰堤平面図)

◇ 1 事業の概要

中筋上川 通常砂防事業 計画図面

計画縦断面図



堰堤地点での計画流出土砂量 950m^3 を
砂防堰堤の計画捕捉量(赤線で囲まれた部分) 610m^3 と
計画抑制量(オレンジ着色部分) 340m^3 で止める。

◇2 費用対効果分析

費用便益比(B/C)などの算定

費用便益比 (B / C) の算定結果

・ **総便益 B = 5,809 (百万円)**

〔 便益 = 5,799.4 (百万円)
残存価値 = 9.6 (百万円) 〕

・ **総費用 C = 169 (百万円)**

〔 建設費 = 166.7 (百万円)
維持管理費 = 2.8 (百万円) 〕

費用便益比 B / C = 34.37

純便益 (B - C) の算定結果

・ **純便益 B - C**

5,640 (百万円)

平成28年度 中筋上川 砂防事業全体計画書策定時に算出

◇2 費用対効果分析

費用便益比(B/C)などの算定

費用便益比 (B / C) の算定結果

・ **総便益 B = 5,075 (百万円)**

〔 便益 = 5,065 (百万円)
残存価値 = 10 (百万円) 〕

・ **総費用 C = 163 (百万円)**

〔 建設費 = 160 (百万円)
維持管理費 = 3 (百万円) 〕

費用便益比 B / C = 31.15

純便益 (B - C) の算定結果

・ **純便益 B - C**

4,912 (百万円)

各種資産評価単価等の訂正後に算出

◇3 結論

これまでの経緯のまとめと対応方針（案）

これまでの経緯

平成28年度 現地踏査や予備設計に着手

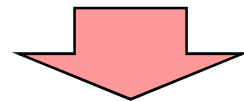
平成29年度 （防災・安全社会資本整備交付金）通常砂防事業として採択され、現地測量、地質調査、詳細設計等に着手

令和 2年度 用地買収完了

令和 3年度 工事用道路着手

事業の必要性

- ・砂防堰堤の設置は、土砂災害から県民の生命と財産を守るために有効な手段である。
- ・中筋上川の保全対象は、**人家119戸、町道（避難路）、二級河川中筋川等があり**、土砂災害が発生した場合は**下流域に甚大な被害が発生する恐れがある**。
- ・土砂災害により**町道**が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響は大きく、早期に安全性を向上させる必要がある。
- ・令和2年度に用地買収が完了し、工事用道路に着手していることから、令和4年度は**従来の交付金事業から個別補助事業に移行を図ることで、砂防堰堤、溪流保全工を集中的に整備し、災害予防事業を着実に進める**。



対応方針（案）：実施